

保育おおさか

平成21年11月1日 第411号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

地方分権改革推進委の第3次勧告

設置基準の自治体委譲に緊急アピール

—全国保育協議会など—

10月7日に新聞各紙で、政府の地方分権改革推進委員会は、国が一律の基準で自治体の仕事を規制する「義務付け」について892項目の廃止を盛り込んだ第3次勧告を決めたと報道されました。この報道をめぐる対応、動きについて報告します。

最低基準は国の責任で堅持を

報道によると、第3次勧告に伴う保育園の設置基準については、各自治体が条例で自由に決められるようになり、11月までに必要な法改正を整える方針というものです。

この報道を受け、全国保育協議会と全国保育士会は同月9日、認可保育園の設置基準を各自治体に委ねる、移譲することへの反対表明として鳩山由紀夫総理大臣をはじめ、関係各大臣などに「緊急アピール」を行いました。アピールは「子どもの最善の利益を追求するためには現在の最低基準を上回る環境整備が必要」「児童福祉施設最低基準は国の責任により堅持されるべき」という内容で

す。

10月17日には全国私立保育園連盟、日本保育協会、全国保育協議会の3団体近畿ブロック役員会議が開かれ、設置基準の移譲に反対していくことが確認されました。

こうした状況の中、同月21日、原口一博総務相は892項目のうち、認可保育園の設置基準など103項目を優先的に見直す方針を明らかにしました。

保育環境が劣悪になる可能性も

今回の見直しは、民主党がマニフェスト（政権公約）に盛り込んだ「保育所の待機児童の解消」の実現に向けた取り組みを具体化したものです。自治体からはこれまでに「保育所の設置環境は地域で異なるため、地域の実情に応じた運営が望まれる。認可保育園の基準設定は市町村に移譲すべき」などの声もあがっています。一律に定められた設置基準では、屋外遊戯場、保育室などの面積を十分に確保できないことで認可保育園の増加も見込まれず、待機児童

の増加につながると考えられています。

しかし一方で、設置基準が緩和され、各自治体によって基準が異なることは、乳幼児の保育環境が劣悪になる可能性もあると今回の規制緩和を懸念する声もあります。

例えば、待機児童が多く、現行の設置基準では十分なスペースの確保が難しい都市部において、保育室のスペースに対し児童数が多くなる。また、近隣の市町村で保育環境が異なれば、地域によって育ちの保障に違いが生ずる可能性があります。

これらは「児童の権利条約」第3条に規定されている「子どもの最善の利益」「すべて児童は、ひとしくその生活を保障

され、愛護されなければならない」という児童福祉の理念が守られないことにもつながるのではないかと示唆されています。

待機児童の解消はわが国全体の課題でありながらも、財政が逼迫している自治体に認可保育園の整備責任を委ねることは、結果として地方の格差を広げかねないといった指摘もあります。

今後、政府は分権委第3次勧告に盛り込まれた義務付けを見直すかどうかなどを各省庁に文書で照会。優先的に見直しをする103項目について「来年の通常国会での法改正を原則とする」としたうえで11月4日までに回答を要請しています。

大阪府保育士会50周年記念講演会案内

11月18日、講師に安田祥子氏

大阪府保育士会50周年記念講演会が開催されます。

日時：平成21年11月18日（水）
受付開始：14時から
記念講演：15時から17時
会場：グランキューブ大阪
イベントホール

定員：600名
内容：保育士会のあゆみ（DVD上映）・ミニコンサート『子どもたちに伝えたい美しい日本』のうた

参加費：無料



講師／安田祥子氏（写真）是非、皆さまのご参加をお待ちしております。お問い合わせは事務局まで。
TEL 06-6762-9001



先日、読売新聞の朝刊を何気なく見ていたら「生活を楽しむ男性、脳卒中や狭心症低リスク」という記事が目飛び込んできました。

日ごろ、家族から体型や運動不足、飲食（特に飲酒ですが）についても、とやかく注意されているので詳しく読んでみると「生活を楽しむ意識の高い男性ほど脳卒中や狭心症などを発症する危険性が低いことが、厚生労働省研究班の調査でわかった。高知、岩手など8県の40〜69歳の男女12万人を12年間調査した」という内容でした。また、女性では明確な差は見られないとのこと。

自らのことを考えてみると、確かに多趣味ではあります。楽しむことが大好き。生活習慣を見直さなくても良いと書かれている訳でないことは充分わかっていますが、これからも仕事と趣味の両立を大切に、人生を楽しんで過ごそうという明るい気持ちになりました。

(編集委員 M・K)

合同求人説明会や職員メンタルヘルス研修会などに助成金

―保育園でも活用できる複数事業所連携事業

昨年来の緊急経済対策として、福祉・介護人材確保緊急支援事業が予算化されました。具体的の中身は、喫緊の課題である福祉分野での人材確保の取り組みが大幅に拡充されています。このうち、保育園でも活用できる「複数事業所連携事業」について紹介します。

この支援事業は平成21年23年の時限事業。府内にある5つ以上の保育園などが集まり保育士の合

同求人説明会や資質向上のための合同研修を行った場合、その事業費を大阪府が補助する仕組みです。

まず、5つ以上の保育園などが集まってユニットを形成する必要があります。ただし、次のアウのいずれかの条件を満たさなければなりません。

(ア) 定員が施設サービ
スで50人以下、または
在宅サービスで20人以

下の事業所
(イ) 1法人1施設の事業所
(ウ) 経営基盤が脆弱であること

保育園の場合は(イ)の要件を満たす園が比較的多いと思われます。ただ、条件としてユニットを形成するすべての保育園がこの3要件を満たす必要はありません。過半数が該当していれば、他の保育園が定員50人以上、1法人複数事業

所を運営しているなども可能とされています。現在すでに約50ユニットの事業所が申請され、順次交付決定を受けています。

その事業内容は施設合同の求人説明会、職員のメンタルヘルス研修、接遇研修、養成校の学生と施設職員の懇談会、幹部職員研修など多岐にわたり、それぞれに助成されています。

また、合同の求人説明会で新規の人材を確保し、

職員のスキルアップと定着を目的とした職員研修を組み合わせた年間研修計画などを申請することもできます。新規事業はもちろん、既存の研修事業も対象となっています。助成金額は、1ユニット(5事業所)あたり694千円、10事業所以上で1ユニットを形成した場合は、1,388千円を上限にそれぞれ助成される仕組みです。

申請の窓口は大阪府福祉人材センターとなっていますので、ユニット形成など不明な点など気軽にお問い合わせください。TEL06-6762-9020(担当:人材センター 徳丸)

操作マニュアルのダウンロード

―新・よい子ネット

新・よい子ネットの操作マニュアルが10月8日より、パソコンからダウンロードいただけるようになりました。

末尾にお知らせしているURLにパソコンからアクセスいただきますと、下部に「操作マニュアル(パソコン)」「携帯電話

操作マニュアル」「保護者登録用チラシ」「保護者さんへ配布する資料」が表示されています。それぞれ「ダウンロードはこちら」と水色で表示されている部分をクリックするとダウンロードが可能です。

なお、「保護者さんへ

配布する資料」につきましては、word版、pdf版の2種類から選びダウンロードいただけます。

この機会に是非参考いただき、新・よい子ネットのご活用にお役立て下さい。

【URL】

http://osaka.yoiko-net.jp/yoikonet/client/home/showMenu.do

人権協へのご加入を！ 初年度会費は半額に

利用者の人権尊重および会員法人役職員の人権意識の向上を目的に平成12年、大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会(略称「人権協(菊池繁信会長)」が設立されました。全体、地域別研修の開催や各種別部会と連携した研修の開催などにも

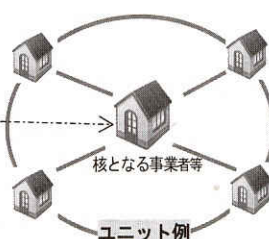
取り組んでいます。現在の会員法人は505法人。専門委員として各行政の法人指導担当課や当該社会福祉協議会からも参画いただいています。

社会福祉法人の人権活動をより積極的に進めていくために、1法人でも多くの社会福祉法人のご加入をお願いします。

【年会費】
1法人1施設:

年額5,000円
1法人複数施設:
年額7,000円

※10月以降のご入会の場合、初年度会費は半額とさせていただきます。入会等のお問い合わせは施設福祉部まで。
TEL06-6762-9001



人材確保

・合同求人
・合同学校説明会等

学生
求職者

人材育成

・合同研修
・人事交流等

職員

豊中市 あけぼのぼんぼこ保育園

週3日の3〜5歳児縦割り保育に特色
自然体感プログラムで成長たくましく

シンボルマークのたぬき

きな木や草花など自然に囲まれています。保護者の方や地域の方にも腰を下ろしてもらえ、陽だまりの広場としての役割も果たしています。

保育方針は――

◎「よくみる・よくきく・よくする」

◎すべての生活から健全な心身を育てる。

◎すべての生活からよく考える力を育てる。

◎すべての生活から愛情と自立心を育てる。

様々な生活の場を提供し「より遠くへ自分の足で歩いていける人間形成」を目指されています。

特色は縦割り保育です。3・4・5歳児は月・火・水が縦割り、木・金は横割りで運営。縦割り保育では、異年齢の園児たちと遊びながら、ホッとする時間、横割り保育では、同年齢の園児たちと力を出し合うことで気合いが入るそうです。

0・1・2歳児は担当



制で「じつくり・ゆつくり・ていねいに」を大切に保育がすすめられます。

4歳児は9

月から「森を歩こう」のプログラムがあ

り、山へ出かけ四季折々の自然を体感し

ます。そして5歳児の7月に行われる「ちびっこキャンプ」へと繋が

がっています。2泊3日のキャンプで子どもたちはたくましく成長するそうです。

(編集委員 M・H)

保育園を

たずねて

392



何を作ろうか

園は、樹齢200年の大きな「むくの木」に見守られ、周囲には多くの木々が立ち並んだり、芝生のグラウンドがあったりするので特にそう感じるのかもしれない。

園児が布を針仕事で筒状にし、その後、染め粉を使って色付けします。世界に一つの「こいのぼり」の完成です。

また、陶芸にも力を注がれています。元保護者の方で、陶芸に関わりの深い方が講師として、ずっと指導されているそうです。子どもだけでなく、先生たちも作れるので好評のようです。陶器のランプなど作品の中には、自由な発想に富んだものもあり驚かされます。

運動も大切にされています。特に年長児にはラグビーを取り入れ、元ラグビー経験者の理事の方が指導しています。

指導の後には理事からの話があり、毎回必ず語られるのが「フェアプレーを貫くこと」と「ノーサイドの笛が鳴るまで、自分の力を出し切ること」。

手作りこいのぼりなど「和」の雰囲気たっぷりのラグビーでルールやフェアプレーが年長児

門真市 北巢本保育園



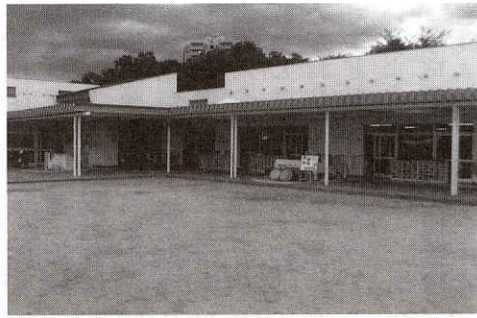
本格的に取り組む

導を続けられています。単なる遊びではなく、ヘッドギアを着用するほど本格的な取り組みで、週に一回の教室です。ラグビーにはルールやフェアプレー、礼儀、協力を重視する大変日本的なものが感じられるスポーツです。卒園前には、協力関係にある大阪市内の保育園と年に一回の交流戦があり、保護者も参加し楽しい思い出となっています。

(編集委員 J・F)

堺市 晴美台保育園

自分の気持ちをきちんと伝える表現力重視
生活、遊びなど使用目的別の部屋づくり



広いテラスと園庭

的です。また、広いテラスと園庭、高台の立地のおかげで、日当り、風通しも良好、とても過ごしやすい立地になっています。

民営化されてまだ5年の保育園ですが、保護者だけでなく、地域と一体となつて、みんなで楽しむ子育てを目指され、しっかりと地域に溶け込んでいるようです。

晴美台保育園は堺市南区にあり、同市の南西、泉北丘陵のはずれの住宅地に立地している民間保育園です。大阪狭山市との市境にあたる陶器山がひかえ、近隣は都市部には珍しく自然に囲まれ環境は抜群です。

設立は平成17年。堺市立保育所であった晴美台保育所を、社会福祉法人浜寺会が引き継がれました。

園舎は公立時代から35年になる古い建物ですが、白い壁に赤い屋根が印象

目標にされています。大切に伝えていくことを目標にされています。環境保育をベースに、アットホームな雰囲気を進められているのも大きな特色です。

(編集委員 T・S)



岸和田市 ピープル八木南チャイルドスクール

福祉力を生かし全館バリアフリー
音楽通じ協調性や礼儀正しさを伝える

岸和田市のほぼ中心に立地するピープル八木南チャイルドスクールは、社会福祉法人光生会の保育園として平成19年に開園された今年3年目の新しい保育園です。

園舎内は全館バリアフリーで、点字ブロック・障がい者用トイレがあり、光生会法人の福祉力を生かした、将来的に多様な形態の保育ができる施設となっています。



真剣なまなざしの園児たち

また、0・1歳児室には床暖房、室内には温水プール、多目的室には本格的な照明をしつらえた舞台があり、清潔で充実した

設備は保護者の方々にも大変喜ばれているようです。先の運動会では、普段の取り組みを活かしフィナーレを鼓隊で飾りました。今の園長先生は以前、幼稚園や保育園の音楽指導を手がけられたこともあり、音楽を通して子どもたちに協調性や礼儀正しさを伝える取り組みをすすめています。

合言葉は「みんなで一つ」。一人ひとりが大切な存在であること、その上で力を合わせることの大切さを学びます。暑いさなか、なかには途中でネをあげる園児もいましたが、励ましあいながら最後までやり通しました。

やり遂げた後の表情はどの子も自信に満ち誇らしい。普段から自分の気持ちを表現し伝えること、友だちや先生の話をしっかりと聞くことを大切にされているのがうかがえました。

(編集委員 M・N)

保育園を

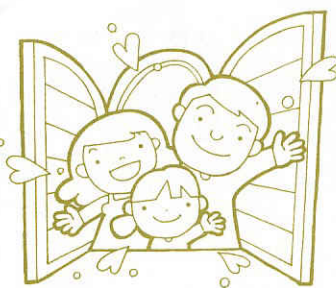
たずねて 393



保育の

まど

39

若宮保育園
— 東大阪市

シリーズ 園児の体力づくり

地の利生かし散歩やラグビー遊び
— 事例発表と実技指導の研修会開く

研修会の様子

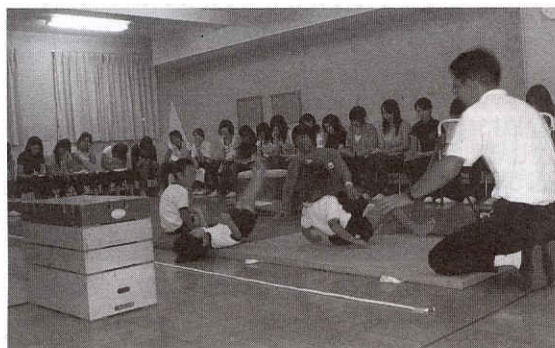
まず、事例発表では、当園の主な活動となる「散歩」を通じて体力の向上について、園とその周辺環境を十分に活用した保育の姿を紹介しました。

当園は東大阪市の東部地区、生駒山のおもとにあり、周辺には遊び場となる公園や施設が多い。生駒山への

若宮保育園では『子どもたちの体力づくり』をテーマに研修会を開催しました。

当日は各保育園からたくさんの方にも参加

してもらい、当保育園での体力づくりに関する取り組みの事例発表と、体育指導の講師による実技講習との二部構成で研修会を実施しました。



講師の高橋武志氏

終了後も熱心に質問にこたえられる先生方もみられ、研修会は盛況の内に終わることができました。

現在、子どもたちの体力低下が社会問題として捉えられるようになってきていますが、幼児期の基礎体力は今後の成長にも関わってくる大切な要素のひとつです。

ハイキング、暗（くらがり）峠でのたけのこ掘りや稲刈りのほか、枚岡公園、石切神社など散歩スポットがふんだんにあります。

一年を通じて天気の良い日には、積極的に出かけ、季節の移り変わりや交通ルールなどを学びつつ、体力の向上を目指しています。

他には東大阪市ではラグビーが盛んなので『ラグビーの町東大阪』にちなんで「ラグビー遊び」を取り入れています。学年ごとのラグビー大会、専門の講師によるキッズボックスなどにも取り組み、そのようなスクリーン

を通して研修会の参加者に披露しました。

後半の体育指導では、当園スポーツクラブ講師の高橋武志先生に加わってもらい、室内での運動遊びの中から、マット・跳び箱・鉄棒における子どもたちへの指導の進め方について実演を通して解説してもらいました。

具体的には、例えば跳び箱での開脚跳びなどについて、跳び箱を使つての練習だけではなく、両足をそろえて連続とびをする遊びを取り入れる。そこから跳び箱を使つたいろいろな遊びにつながるヒントも教えていただきました。

遊びの中でどのように体力を身につけられるのか、就学前のこの時期だからこそ、じつくりと取り組むことができるのではないかと思います。

今回の発表でもその点に焦点をあてた内容にまとめてみました。

当日ご参加された先生方に、何かのご参考にしてもらえればと思っています。



大きなたけのこに満足した園児たち

公益信託二度童子奥田基金募集のご案内

本年度（21年度）も高齢者福祉や児童福祉の向上を図る研究やボランティア活動などの支援を目的とした「公益信託二度童子奥田基金」助成の募集が始まります。

助成条件：過去にこの助成を受けていない団体を優先します。

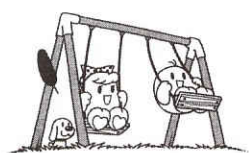
申請受付期間：平成21年11月1日から11月30日まで。

問い合わせ先：

大阪府共同募金会
TEL 06-6762-8717
<http://www.akaihan-osaka.or.jp>

助成金総額：助成対象となる団体、社会福祉法人、NPO法人に対し

て、総額248万円程



ブロックだより

北大阪

素敵な歌声や絵本の読み聞かせ

門真市民間保育園協会の保育士研修

門真市民間保育園協議会主催の保育士研修が9月26日、シンガーソングライターの中川ひろたか氏を講師に、おおわだ保育園で開かれました。コンサートを交えた研

修会には北大阪ブロック7市の保育士約190名が参加しました。「世界中の子どもたちが」をはじめ「おーいカバくん」「虹」「ともだちになるために」など、ギターの生



中川氏のギターに合わせて歌う保育士

てこられたユニークな話や「りんごがころん」「きらいさ きらい」の絵本の読み聞かせも行われました。

中川氏は「全国で保育士資格を初めて取得された男性」です。保育士を経験されているからこそ、子どもの視線や気持ちに寄り添った歌、絵本に親しみを感じ、その中に中川氏の温かい人柄がうかがわれ、笑い声の絶えない研修会となりました。

一つの歌から、あそびを展開し広げていく楽しさやその発想は大変勉強

深まりゆく秋色に紅葉だよりが聞こえてくる頃、秋の行事も山を越え研修会シーズン。ここ数年、研修案内が多いと感じるのは私だけではないでしょう。安心ことも基金により国が後押しする研修も入り、勉強ができる機会が増えて嬉しいが、そう保育現場からは出せないのが実情だ。

民営化を防ぐ意味から全国的流れを感じながらの参加？なかと勘ぐる次第。留守中の保育を心配するが、加配があるから大丈夫なのだろう。

まれ、福祉委員の姉さんたちも応援に駆けつけてくれる。年2回開催に、最近参加者は抽選になっているらしいが、はずれた方もとぼけたふりをしてたふりをして来られるから、10人多めに想定しての準備

紅葉といえば、京都の寺の紅葉は一段と絵になるから、大原の里もよろし、漬物もええな。でも京都は高い！のが気に入らんが、老舗の食についてひかれ暖簾を潜る。うずうすい等は極み。

政権交代の民主党政府に、研修会に参加させられる体勢作りもお願いしなければと思う。全保協の研修部会に所属し、全国レベルの研修会の運営に携わっておりますが、驚きは公立保育所の所長・主任クラスが休暇を取り

さで、ぼちぼち「世代間交流会」の準備をする頃。十数年前、里に帰った際に父親が独りぼんを食べている姿が大変寂しい感じがした。地域に独

かい手のひらから元氣をもらったら、楽しみの昼食。献立は相変わず(筆者特製の)④のおでん・細うで

モノ買うときは錦市場へ。早朝は天鯛の頭が売られていて骨蒸しに。京野菜の高い店は覗くだけにし、すぐきでも買うて帰ろうか。白いすぐきを



秋色深まり研修会シーズン 京都の紅葉に、 白いすぐきやお稲荷さんが 堪りません！

驚きは公立保育所の所長・主任クラスが休暇を取り自費で参加！(地方都市は財政逼迫で旅費は削り易い筆頭)大変熱心で、

居の方が多いので独りで食べるより皆で、と老人会に呼びかけ始めた。今では校区の福祉活動のスケジュールに組み込

ん・おにぎり・漬物・一升瓶は園長の気持ち。応援の姉さんたち、うどんの釜揚げは手慣れたモノで最近では任せつきりに。

高いけど、あの旨い鯖の棒すしとお稲荷さんも土産に。八坂神社の向かいのお店、お稲荷さんは6月から秋のお彼岸まで、は危ないから作らないが、気に入って、何ともいえない塩梅の寿司酢の具合が堪りません。(H・N)

堺

保護者とうき合うか

園長研修会で小野田教授が講演

堺市民間保育園連盟園長研修会が10月20日、堺市総合福祉会館で行われました。

「モンスターパーアレント論を超えて」保護者とうき合う気持ちと共同性

小野田教授は「保育園は保護者とうき合うか」、「孤立する保護者たち」、「子の成長を願う気持ち」は保護者も保育士も同じ、「保育園がどうなっているかを共に分かち合うこと」など保育園をめぐる問題点について解説

また、課題の解決には保育園全体で取り組み、決して一人の保育士が孤立化しないようにすることが大切で、保育園で解決できないような課題については、弁護士、警察などの専門機関へ相談することの重要性についても述べられました。

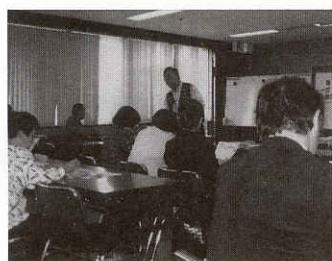
寄せられる要求に対し、保育園が「向き合うべき課題」と「聞き流すだけでいい話」、さらに「適切な距離を保つ必要のある問題」に分けられることを指摘、それらを見定めるためには、まずは保育園側から語りかけ、話を聞きながら「思いや願い」がどこにあるのかを見て取る姿勢が必要だと強調されました。

また、課題の解決には保育園全体で取り組み、決して一人の保育士が孤立化しないようにすることが大切で、保育園で解決できないような課題については、弁護士、警察などの専門機関へ相談することの重要性についても述べられました。

その中で、保護者から

になり、日々の保育に追われる保育士にとって、心が癒されるひとときと

なりました。
(門真市民間保育園協議会研修委員会)



小野田正利氏と参加者

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 正
編集人 永野 治
齊藤 和

(編集委員 T・S)